

取扱説明書

Mod.

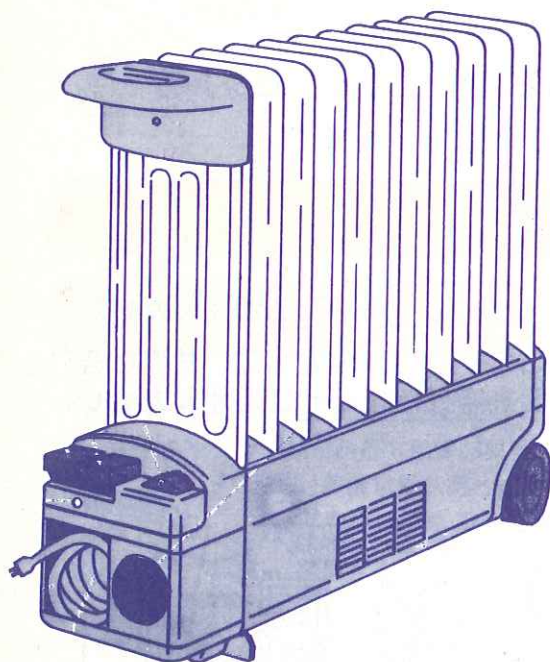
F1-15TE

11枚フィン

1500W

セラミックファン付

電子タイマー付



このたびは、デロンギヒーターをお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

も く じ

- ・安全上のご注意 1 ~ 5
- ・知っておいていただきたいこと 5
- ・各部の名称とはたらき 6
- ・操作手順 7
- ・電子タイマーのしくみと使い方 8
- ・セラミックファンの使い方 9
- ・お手入れ／保管のしかた
- ・真心点検について 10
- ・アフターサービス
- ・仕様 裏面

※6頁をお読みのうえ、ヒーター本体底に
スタンドを取り付けてください。

【安全上のご注意 必ずお守りください】

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに区分し、明示しています。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重症を負う差し迫った危険の発生が想定される内容」を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示(記号)が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制または指示



：差込みプラグをコンセントから抜く

電源について



警告

- 電源は、一般家庭用100V/50・60Hzをご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接おとりください。

ヒーターの差込みプラグは、コンセントに直接つないでください。



15A 125V



- ヒーターは、単独でご使用ください。
- 二口コンセントの場合は、片方の差込み口を空けたままでご使用ください。

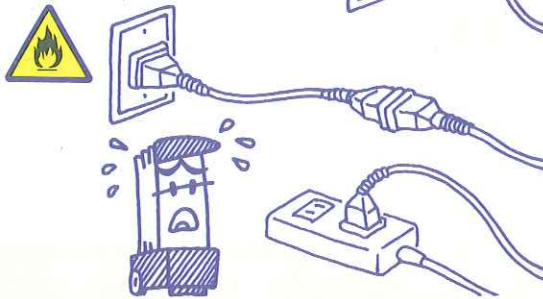
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。



警告

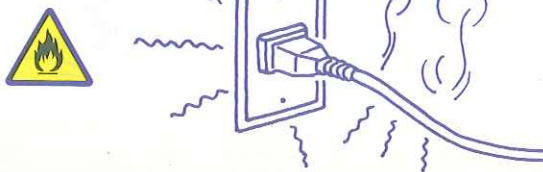
- 延長コード、テーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

コンセントや電源コードが発熱し、発火することがあります。



- 運転中、差し込みプラグ/電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。

ショートや発火する恐れがありますので、弊社サービスセンター(10頁参照)までご相談ください。



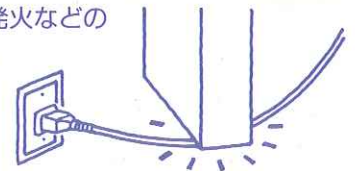
- 差し込みプラグは、根元までしっかりと差し込んでください。また、差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。



- 差し込みプラグ/電源コードは、傷付いたり、無理に曲げたり、重たい物をのせないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。



- 運転中は、電源コードがラジエーター(放熱板)に触れないようにしてください。

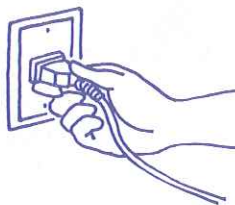
熱で電源コードが傷み、ショートや感電などの原因になります。



注意

- 電源コードをコンセントから抜く際は、必ず差し込みプラグを持って抜いてください。

電源コードを持って無理に引っ張ると、破損し、感電やショート、発火などの原因になります。



- 濡れた手で、差し込みプラグの抜き差しをしないでください。

感電の恐れがあります。



- 収納ボックスにコードをしまうときは、折らないでください。

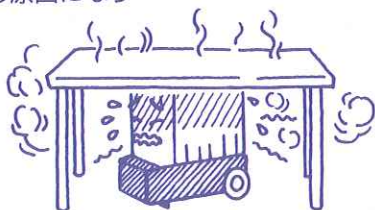


設置場所について

警告

- テーブルや机の下での使用は、お止めください。

ヒーターの上部をふさぐと
対流ができず高温になり、
ヤケドや故障の原因になり
ます。



- 水や湿気の多い場所での使用は、お止めください。

ショートや感電の恐れが
あります。



設置場所について

注意

- セラミックファン使用時は、壁や家具などで、温風口をふさがないでください。

材質によっては、変色する
場合があります。



- 平らなところ(床)に置いてください。

倒れると、ケガや事故の恐
れがあります。



使用する上で —

危険

- セラミックファンを使用する際は、温風口から30cm以上離れてください。

あまり近寄ると、熱風でヤ
ケドをする恐れがあります。



- 横倒しでの使用は、絶対にお止めくだ
さい。

火災や故障などの恐れがあ
り、危険です。



使用する上で —

警告

- ふとんや毛布、濡れたもの(洗濯物)などをかけないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



- 絶対に分解したり、修理／改造はお止めください。

発火や故障などの原因になります。



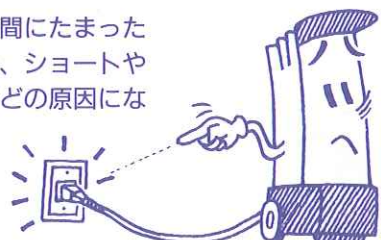
- 犬や猫など、ペットの暖房用に使用しないでください。

ペットが本体や差し込みプラグ／電源コードなどを傷め、火災などの原因になります



- 長期使用しない場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの間にたまったゴミや結露が、ショートや漏電、発火などの原因になります。



使用する上で —

注意

- ヒーターの移動は、冷えてから行なってください。



- ラジエーターのスキ間や温風口に異物を入れないでください。



運転中は —

警告

- 運転中および停止直後は、ラジエーター(放熱板)に触れないでください。

長い間触れていると、ヤケドをする恐れがあります。



- 本体および操作パネルに、水やジュースなどをこぼさないでください。

万一こぼした場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに使用を中止して、弊社サービスセンター(10頁参照)までご相談ください。



- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電力スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜き、使用を中止します。



異常な状態で使用を続けると、事故や故障につながります。必ず、弊社サービスセンター(10頁参照)までご連絡ください。

運転中は —

⚠ 注意

- 小さなお子様がいるときは、必ず付き添ってください。



- ブレーカー(分電盤内の配線遮断器)が落ちる場合は、電気会社にご相談ください。



お手入れ、
保管について

⚠ 警告

- 必ず差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



お手入れ、
保管について

⚠ 注意

- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使用しないでください。



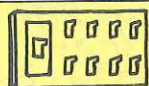
- 保管の際は、横倒しにしたり、上に物を乗せないでください。



知っておいていただきたいこと

A (アンペア)

定格電流に
ついて —



ブレーカーに
ついて —

ヒーターの表面
温度について —

お求めのヒーターの定格電流は15A(アンペア)です。ご家庭内の他の(使用中の)電気器具のそれとの合計値が、**契約電力**(電気料金の請求書/基本契約欄に00Aと記載)を超えていないか — ご確認ください。

ちなみに、定格電流の算出方法は、下記の通りです。

$$\text{定格電力(A)} = \frac{\text{消費電力(W)}}{100(=\text{電圧V})}$$

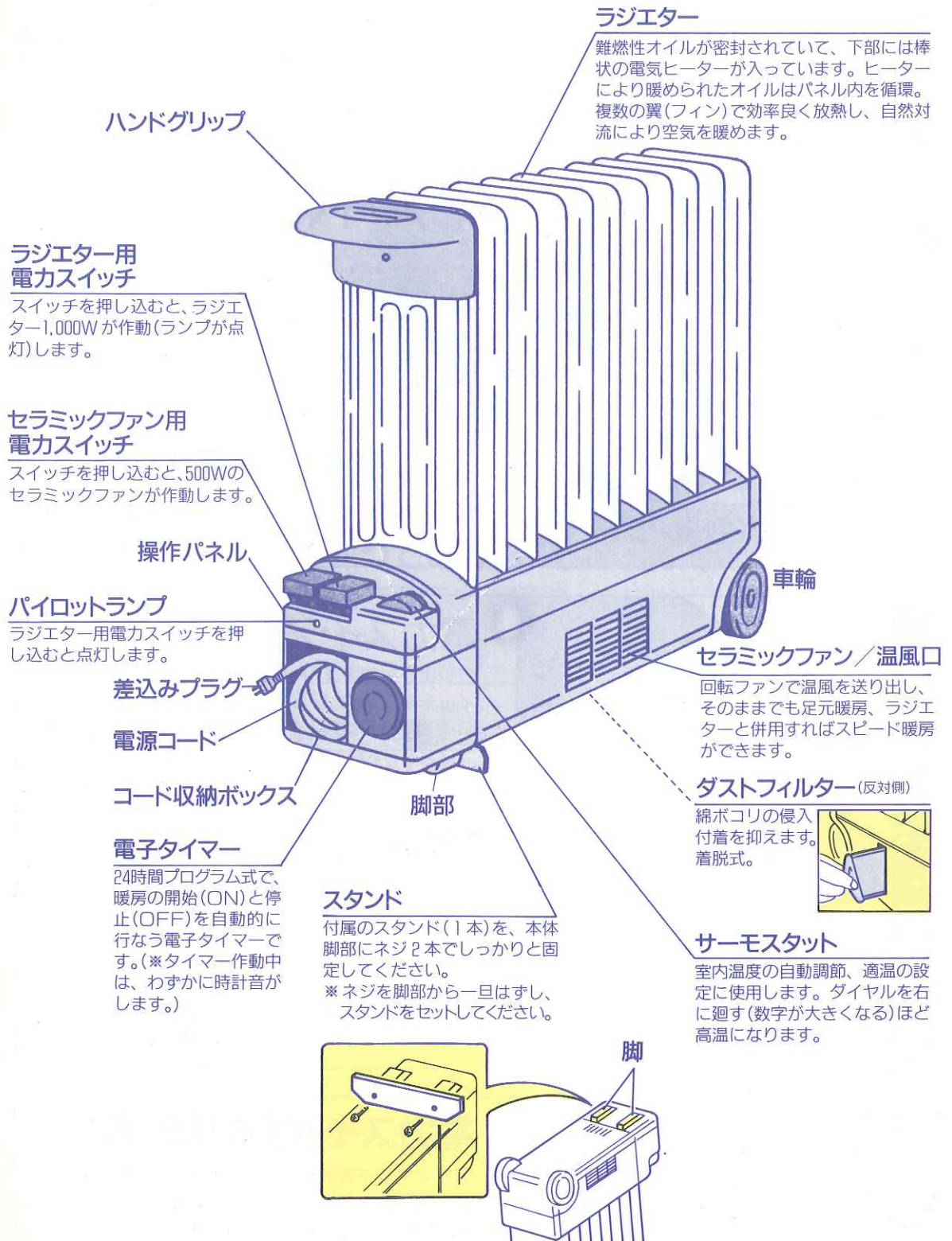
ブレーカー(分電盤内にある配線遮断器)は、その回路で電気を使い過ぎた時や、何らかの原因で瞬時に大電流が流れた時に、自動的に電気を断ち、その回路を守ります。

契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超え複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。

※契約電力が不足している場合は、電力会社に増量を依頼してください。

運転中のヒーター/ラジエーター(放熱板)の表面温度は、最高で約80~90℃になります。固体はお湯などの液体と違い、1・2秒間触れてもヤケドはしませんが、それ以上長いと危険です。運転中および停止直後は、ラジエーターに触れないでください。

各部の名称とはたらき



ラジエター

難燃性オイルが密封されていて、下部には棒状の電気ヒーターが入っています。ヒーターにより暖められたオイルはパネル内を循環。複数の翼(フィン)で効率良く放熱し、自然対流により空気を暖めます。

ラジエター用電力スイッチ

スイッチを押し込むと、ラジエター1,000Wが作動(ランプが点灯)します。

セラミックファン用電力スイッチ

スイッチを押し込むと、500Wのセラミックファンが作動します。

操作パネル

パイロットランプ

ラジエター用電力スイッチを押し込むと点灯します。

差込みプラグ

電源コード

コード収納ボックス

電子タイマー

24時間プログラム式で、暖房の開始(ON)と停止(OFF)を自動に行なう電子タイマーです。(※タイマー作動中は、わずかに時計音がします。)

スタンド

付属のスタンド(1本)を、本体脚部にネジ2本でしっかりと固定してください。

※ネジを脚部から一旦はずし、スタンドをセットしてください。

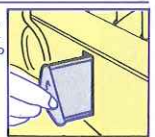
車輪

セラミックファン/温風口

回転ファンで温風を送り出し、そのままでも足元暖房、ラジエターと併用すればスピード暖房ができます。

ダストフィルター(反対側)

綿ボコリの侵入付着を抑えます。着脱式。

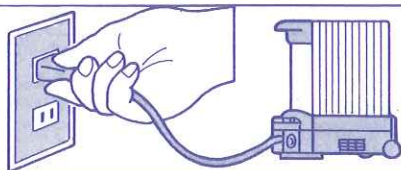


サーモスタット

室内温度の自動調節、適温の設定に使用します。ダイヤルを右に回す(数字が大きくなる)ほど高温になります。

操作手順 (電子タイマーを使用しない場合)

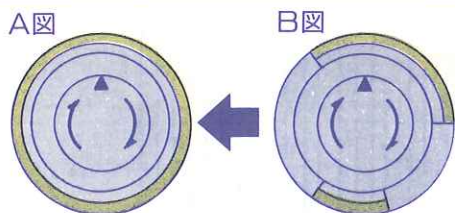
1



電源の接続

差し込みプラグを壁面コンセントに直接差し込みます。根元までしっかり入れてください。

2



タイマーが作動しない状態

タイマー作動の状態

電子タイマーの解除

電子タイマーが作動しない(=タイマー解除)状態(A図)にあるかどうかを確認してください。製品の出荷時には、電子タイマーのピンスイッチは全て内側に押し込まれていますが、そうでない場合(B図)は、全て内側に押し込んでください。

※電子タイマーの使用方法は、右頁参照。

3



サーモスタットを最大にセット

サーモスタットのダイヤルを右にいっぱい(6の数字)に廻し、出力レベルを最大にセットします。

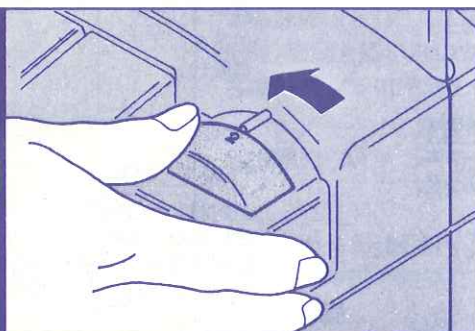
4



電力スイッチを「入」れる

ラジエーター用およびセラミックファン用の電力スイッチを2つとも押し込みます。(※早く暖めるために、運転当初は電力を最大にします。)パイロットランプが点灯し、暖房が始まります。

5



適温の設定

お望みの室温(=適温)に達したら、サーモスタットのダイヤルをゆっくりと左に廻し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで「適温」がセットされ、あとは自動的にON/OFFをくり返し、適温を保ちます。室温を上げたいときは、サーモスタットのダイヤルを右に廻し(数字が大きくなる)、下げたいときは左に廻します。

6



電力スイッチを「切」る

電力スイッチを元に戻し、差し込みプラグをコンセントから抜きます。ラジエーターは停止後しばらくは熱いので、触れないでください。

電子タイマーのしくみと使い方

●ON/OFF型電子タイマーです。設定した時刻に暖房を開始(ON)するだけでなく、停止(OFF)することもできます。

●24時間プログラム式です。一度設定すれば、毎日同じ時刻に一定の時間だけ暖房することができます。

●各部の名称としくみ

セットポイント

△位置に現在時刻を合わせます。



OFFの状態
ピンスイッチを
外側に引き上げる

ダイヤル

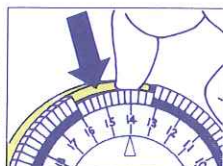
24時間分の目盛が記されています。
1目盛は15分。

※この図は、「現在の時刻は夜の9時(21時)、朝6時から夜の11時(23時)まで連続暖房する」場合を示しています。

ピンスイッチ

内側に押し込んだ状態でON(通電)、外側に引き上げた状態がOFF(停止)です。ピンは24時間分96個(ピン1個は15分)あります。

ONの状態
ピンスイッチを
中心に向かって押し込む



注意：ピンスイッチを誤ってパネル方向に押すと、タイマーが脱落する場合があります。

ベースリング

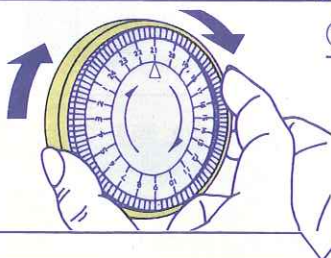
オレンジ色の輪で、ON/OFFの識別に便利です。

●電子タイマーを使って暖房する場合の操作手順

①電源の接続

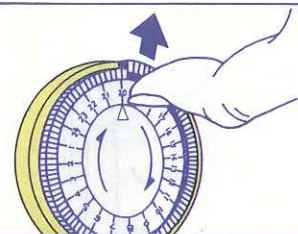
差し込みプラグを壁面コンセントに直接差し込みます。
(※電子タイマーは、電源を入れないと作動しません。)

②現在の時刻合わせ



タイマーを右に廻し、現在の時刻(ダイヤル目盛)をセットポイント(△印)に合わせます。
※図のタイマーは、全てのピンスイッチがONの状態です。

③暖房時間のセット



暖房したい時刻のピンスイッチ(1個=15分)を時間分だけ残し、あとは全て引き上げます。

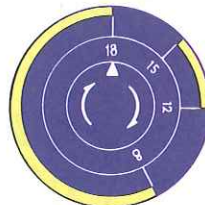
④電力スイッチを「入」れる

電力スイッチを「入」れ、サーモスタットを最大にセットしておきます。電力スイッチを「入」れておかないと、指定した時間がきても暖房が始まりません。

暖房時間のセット例

例：夕方6時から朝8時までと、昼12時から午後3時までの2回暖房をする場合

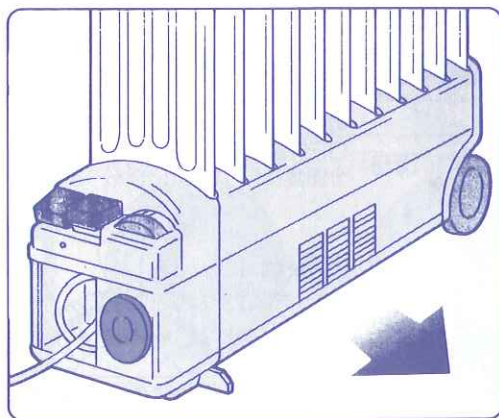
- ①タイマーを右に廻し、現在の時刻「18時」(仮定)をセットポイントに合わせます。
- ②18～8、12～15までのピンスイッチは全て内側に、それ以外のピンは外側に引き上げます。



- ③電力スイッチを「入」れます。①で仮定した時刻が②でセットした暖房時間内にあるので、すぐに暖房が始まります。あとは、時間の設定を変えない限り、毎日同じサイクルで暖房が行なわれます。

セラミックファンの使い方

エフワン(F1)ヒーターには、ラジエーター・ヒーターの他にセラミックファン・ヒーター(500W)が付いています。よりスピーディな室温調節にご使用ください。



＜使用の手順＞

- ① 差し込みプラグを壁面コンセントに直接差し込みます。
- ② タイマーを使用する場合は、暖房時間を設定。そのつど暖房する場合は、タイマーを解除します。
- ③ サーモスタットを最大出力にセットします。
- ④ セラミックファンおよびラジエーターの電力スイッチを「入」れます。ヒーター下部より温風が出てきます。
- ⑤ 適温になったらセラミックファンの電力スイッチを「切」り、ラジエーターのみで暖房を続けます。(もちろん、ラジエーターだけで暖まりにくいときは、セラミックファンとの併用で連続暖房ができます。)
- セラミックファン使用中は、温風口から30cm以上離れてください。

お手入れ／保管のしかた



お手入れおよび保管をするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



洗剤やクレンザー、シンナー、金たわし等は、使用しないでください。

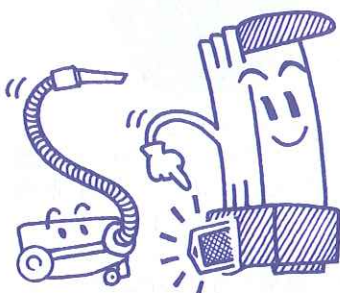


保管の際は、横倒しにしたり、上に物を乗せないでください。



●お手入れは、定期的に行なってください。

●ときどき、ダストフィルターを取り出し、掃除機で、ホコリを除いてください。



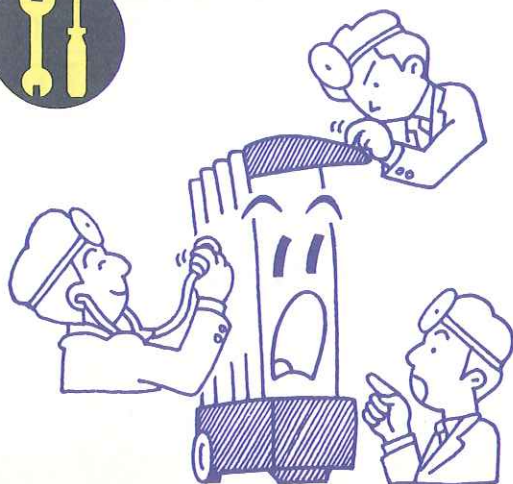
●本体は、乾いた軟らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、布にお湯を含ませ、かたく絞ってからふいてください。



●しまう場合は、商品パッケージに入れるかカバーをしてホコリを防ぎ、乾燥した場所に保管してください。



真心点検について



長年ご使用の —— デロンギ ヒーターの点検を!!

お買い上げから2～3年ほど経過しましたら、現在、支障があるなしに関わらず、これからも安全にご使用いただくために、専門技術者による点検(持込)をおすすめします。

点検の依頼方法および費用につきましては、お求めの販売店か弊社サービスセンター(下記参照)までお問い合わせください。

アフターサービス

- 使用中に異常が生じたときは、直ちに電カスイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜き、お求めになった販売店か弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。
- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期②製品名称と型式番号③故障の状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。
- 宅配便などを利用して弊社に返送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージに同封くださるようお願いします。
- ご転居、ご贈答、その他保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の点があれば、お求めの販売店か下記までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～18:00)

●横浜:〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

修理について Tel.0120-804-280

お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291



デロンギ・ジャパン株式会社



(サービス受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～18:00)



仕 様

製 品 名 称	デロンギヒーター セラミックファン・電子タイマー付
型式番号／放熱板の数	F1-15TE／11枚
適 用 畳 数	7 ～11畳
電 圧 ／周 波 数	AC-100V／50・60Hz
消 費 電 力	500W(セラミックファン)・1000W(ラジエーター)・1500W(併用)
外 形 寸 法 ／ 重 さ	幅19×長さ65.5×高さ57cm／17.5kg
タ イ マ ー	24時間ON／OFF型電子タイマー
電 源 コードの長さ	2 m
付 属 品	スタンド×1、ダストフィルター×1(装着済)

※外形寸法および重さは、スタンドを取り付けた状態の数値です。



De' Longhi Japan Corp.

デロンギ・ジャパン株式会社

本 社：〒101 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル5F TEL.03-5256-6321(代)
大阪支店：〒541 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル5F TEL.06-263-6116(代)